

産業建設常任委員会記録

令和3年2月8日

【開催日】 令和3年2月8日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時22分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	藤岡修美
委員	岡山明	委員	高松秀樹
委員	恒松恵子	委員	森山喜久
委員	宮本政志		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【執行部出席者】

公営競技事務所 長	桶谷一博	公営競技事務所 主任主事	長村知明
公営競技事務所 主任主事	村上良平	公営競技事務所 主任技師	山本達也

【事務局出席者】

局長	尾山邦彦	書記	光永直樹
----	------	----	------

【審査事項】

1 オートレース場のスタンド改修について

午前10時 開会

中村博行委員長 おはようございます。ただいまより産業建設常任委員会を開催いたします。今日の審査はオートレース場のスタンド改修についてで

あります。これは執行部から報告したいとのことで、それを受けての委員会ということです。それでは早速審査に入ります。

桶谷公営競技事務所長 おはようございます。昨年の12月に人事異動がございましたので、冒頭、職員の自己紹介をさせていただきます。

山本公営競技事務所主任技師 公営競技事務所の山本です。よろしくお願います。

桶谷公営競技事務所長 本日は、山陽オートレース場のスタンド改修について御報告させていただきます。最初に概要から御説明させていただきます。これまでの計画は、繰越明許費の議決を頂きまして、今年度中にスタンド改修の基本設計と実施設計を完了する予定でございました。一方で、お客様のインターネット投票への移行が加速化する中で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、本場に御来場されるお客様が大幅に減少している現状がございます。こうした中、東スタンドの建て替えにつきましては、平成27年度から平成29年度までの来場者数を基に建物の収容人数を計算し、その結果が基本設計の観客席の広さに反映されています。しかしながら、基本設計に反映された来場者数と直近の来場者数に大きな乖離が生じ始めており、この傾向は今後も続くことが想定されます。また、この間、市議会の皆様方からも、累積債務の早期解消に努めるようにとの御意見も頂いております。こうしたことなどを総合的に踏まえまして、ここは、一旦立ち止まって施設規模を縮小する方向で見直したいと考えています。加えまして、ウィズコロナを見据えて、施設内の換気機能も検討したいと考えています。この時期での見直し、そして、追加の設計費用も必要となることから、大変申し訳なく思っていますが、そうした方向にかじを切りたいというのが、本日の御説明の主旨でございます。お手元に数種類の資料を御用意いたしました。とりわけ、資料4、5、6が中心となりますが、資料1から順番に御説明させていただきます。まず、資料1をお願いします。こちらの資料は、本場にお

けます平成25年度から令和2年度までの入場者数と売上げの推移をグラフにしたものです。赤色の折れ線グラフが1日平均入場者数になり、青色の棒グラフが本場の売上額になります。冒頭申し上げましたように、東スタンドの建て替えにつきましては、平成27年度から平成29年度までの来場者数を基に建物の収容人数を計算し、その結果が基本設計の観客席の広さに反映されています。1日平均入場者数は、平成28年度と29年度に2年連続で微増したものの、平成30年度以降は大きく減少しています。また、後ほど、資料4で詳しく御説明いたしますが、平成29年度から令和元年度は食フェス「ぶちうまフェスタ」を開催しており、この時の来場者数が1日平均入場者数に反映されています。一方、売上げのほうは、平成28年度に一旦上昇したものの、趨勢としては、減少傾向にあります。続きまして、資料の2をお願いします。こちらの資料は、販路別の売上げの推移を棒グラフにしたものです。数値は億単位で、括弧内の数値は構成比率となっています。このグラフで特に注目していただきたいのが、紫色のインターネット投票売上のすう勢です。令和2年度の売上見込は平成25年度のおよそ2.5倍になっています。とりわけ直近3か年の伸びは特筆すべきものとなっています。令和2年度の総売上見込に着目しますと、インターネット投票に重勝式とミッドナイトレースを加えますとネット全体の売上げが8割を超える見込みとなっています。一方、青色の本場につきましては、構成比率で申し上げますと僅か2%と大きく落ち込んでいます。続きまして、資料の3をお願いします。こちらの資料は、入場者数を客観的に検証するために、例年12月に開催していますG Iスピード王決定戦の令和元年度と令和2年度の入場者数等を比較したものになります。左側の表が入場者数の比較になります。両年度とも初日が平日の水曜日で優勝戦が日曜日となっています。天候もほぼ同じでしたので、走路状況もほぼ同じとなっています。こうした同様の条件でのレースでしたが、令和2年度の入場者数は令和元年度と比較して、5日間の合計で1,514人、率にして22.5%の減となっています。一方、左側の表は、売上の構成比別の比較となります。令和2年度の売上全体は、7.5%増加しています。これま

で見えてきましたように、紫色のインターネット投票が大きく伸び、青色の本場が大きく減少しています。続きまして資料の4をお願いします。こちらは、最大入場者数の推移と収容人数の見直しについての資料となります。まず、右側の表は、最大入場者数の推移となりますが、黄色でマーカーした平成27年度から平成29年度までの来場者数が基本設計の観客席の広さに反映されています。とりわけ平成29年の食フェスを開催した時の4,564人を考慮して算定されていました。今回、この考え方を見直そうとするものです。見直しの考え方、方向性のイメージですが、資料の6をお願いします。まず、上の断面図ですが、走路側から東スタンドを見た図になります。3階、4階に配置されます審判室、番組編成室、カメラ室などの開催本部機能は公正かつ安全なレースを行うために、全体をふかんでできる高さや位置に設置しなければなりませんし、国が定めた基準を満たす必要があります。この最低限必要な3階と4階の本部機能を確保できる必要最小限の面積を基準とし、観覧エリアを見直し、施設規模を縮小しようとするものです。具体的には、まず、赤色の斜線で囲んだ部分6m75cmの2スパン分を計画中止にしたいと考えています。そうすることにより、総3階建てに4階のカメラ室が設置されることとなります。また、青色の斜線で囲んだ1階と2階の観覧席を全面的に見直したいと考えています。見直しの考え方、方向性のイメージですが、下の断面図になります。東側から西側を見た図で、断面図の左側が走路側になります。先ず、左側の当初設計案では、1階と2階に同じような走路側全面ガラス張りの観覧席を設け、中ほどに通路と投票所、売店等を設ける計画でした。それに対しまして、左側の見直し案ですが、基本的には1階はエントランスホールを中心としたピロティ形式とし、観覧席は2階のみを考えています。また、屋外にも観覧席を設け、室内の観覧席と一体性を持たせたいと考えています。また、この図面では分かりにくいですが、当初計画では走路側は全面ガラス張りでしたが、見直し案では、ガラス張りに数か所引き戸を設け、屋内と屋外を自由に往来できるようにしたいと考えています。この引き戸を設けることにより、一定の換気も可能になると考えています。また、1階

のピロティー部分の空いた空間を利用して、何か付加価値のある活用も検討していきたいと考えています。これらは、あくまでも案ですので、詳細な設計は令和3年度で行うこととなります。続きまして、資料の5をお願いします。こちらの資料は、基本設計と見直し案を比較したものです。まず、床面積ですが3階以上は変更なく、1、2階は2スパン分取りやめ、1階はピロティー形式とし、屋外観覧席を設けることにより、合計で563㎡、率にしておよそ28%の減となります。続きまして、観客収容人員ですが、合計で717人、率にしておよそ53%の減となります。続きまして、概算工事費ですが、基本設計での概算工事費が12億2,000万円、見直すことによりどのくらい減額になるかは、今後の設計により明らかになります。現時点では減額分を α としています。続きまして概算ランニングコストですが、こちらは概算で20年の比較をすることができました。1億3,200万円の減となる見込みです。こちらもおくまでも見込みとなります。最後に資料の7をお願いします。こちらは現時点の全体概略工程表になります。令和2年の3月議会でお示ししました工程案より全体的に1年延びています。本事業が完了するのが令和12年度となります。また、令和3年から令和4年に掛けての緑色ですが、地下にあります受配電設備を地上に配置する必要があり、現在、これらを精査しているところです。こちらもおくまでも案ですので、今後、工程が変更となる場合がございます。説明は以上でございます。

中村博行委員長 説明が終わりましたけども、どうしてもここで聞いておきたいということがありましたら挙手をお願いします。もう1回、変更に至った原因の説明をお願いします。

桶谷公営競技事務所長 変更に至った経緯は、大きくまとめますと2点ほどございます。まず1点目が収容人数の見直しでございます。いろいろグラフ等でも見ていただきましたが、本場に来られるお客様が減っており、インターネットへ移行されるお客様も多くなっております。こうした状

況の中でコロナウイルス感染症対策、これをスタンドの設計に反映をさせていきたいというのが2点目でございます。具体的に現在我々が考えていますのは、当初設計では、スタンド側に面した面は全面ガラスで考えておりましたが、そこに何か所か引き戸を設けることにより、換気をしたいという、そういったことを現在考えております。大きな点といたしましては以上の2点。そして、スタンド改修に係る経費を抑えることによりまして、これまで議会の皆様方からも貴重な御意見を頂いておりますように、債務解消を1年でも早くしたいという、そういった思いでございます。

宮本政志委員 資料5の先ほど概算ランニングコスト等の20年比較って説明されましたよね。変更案のこの数字って大体3割ぐらい減っているの、先ほど面積が約28%減少しますよって言われていて、大体その面積が減る率で大体出したんですか。

桶谷公営競技事務所長 概算ではじきましたので、ただいま委員から言われたように、およその面積案分ではじいております。

森山喜久委員 収容人数の見直し等々含めて、東スタンドの設計の変更による工事費はどれぐらい見込まれているんですか。昔説明された分から何かすごい膨れ上がってくるんじゃないかなと思ひまして。

桶谷公営競技事務所長 正に今実施設計段階に入っている中で、全体の工事費がはじき出されるというこのタイミングで設計の見直しに転じたいと思っておりますので、今後、全体の工事費は令和3年度になって出てくるというふうに思っております。

中村博行委員長 しっかり皆さんこの資料を基に予習していただいて、次の委員会にしていきたいと思いますというふうに思います。

岡山明委員 レース場で商売されている方がいらっしゃいますよね。その方たちにとって建物自体を縮小した状況の中で影響はないという状況でいいですかね。

桶谷公営競技事務所長 ただいま御質問いただきました食堂関係の施設でございますが、これらの施設が入っておりますのが、西スタンド側に該当いたしますので、直接的には関係ないというふうに考えております。

中村博行委員長 それでは次の委員会にこういった今日の委員会のことを踏まえた中で、円滑に進むように資料をしっかりと読んでおいていただきたいというふうに思います。それでは産業建設常任委員会を以上で閉じます。お疲れ様でした。

午前10時22分 散会

令和3年2月8日

産業建設常任委員長 中村博行